

# インドネシア：政策金利を6.00%に据え置き 3会合連続の据え置きで通貨ルピアの安定に引き続き注力

インドネシア中央銀行（BI）は12月18日、2日間の金融政策決定会合を終え、政策金利を6.00%に据え置くことを決定しました。据え置きは3会合連続となります。BIは会合後の声明で、今回の据え置きは通貨ルピアの安定化に引き続き注力することを狙った上での決定である、と説明しました。BIの動向、市場の反応および今後の見通しについてご説明します。

## 3会合連続の据え置きを決定、通貨ルピア安定に注力

### 金融政策について：

- BIは12月18日、2日間の金融政策決定会合を終え、政策金利である7日物リバースレポ金利を**6.00%に据え置くことを決定**しました。政策金利の据え置きは**3会合連続**となります。大方の市場参加者は政策金利の据え置きを見込んでいたため、今回の発表は**市場の想定内**となりました。
- BIはまた、翌日物預金ファシリティー金利と貸出ファシリティー金利をそれぞれ5.25%と6.75%に据え置くことも決定しました。
- ペリー・ワルジョ中銀総裁（以下、ペリー氏）は会合後の記者会見で『金融政策の焦点は、不確実性を増す世界経済の影響に対して、**通貨ルピアの安定性を強化することに向けられている**』と述べました。ルピアは10月以降、対米ドルで下落基調が続いており、ルピア安対策のために政策金利を据え置いたといえます。
- なおペリー氏は、BIの金融緩和に関する質問に対し、『まだタイミングは適切ではない』と述べ、引き続き状況を注視していく考えを示しました。一方、ルピアを安定させるため、BIはより大規模な市場介入を実施、資本流入を促すために魅力的な利回りで債券を提供し、今四半期は流通市場でより多くの国債を購入したことも明らかにしました。

### 経済成長について：

- BIはインドネシア経済の先行きについては、2024年の経済成長率予想を4.7%~5.5%とし、**従来の予測を維持**しました。また**2025年については4.8~5.6%に上昇**すると予測しました。

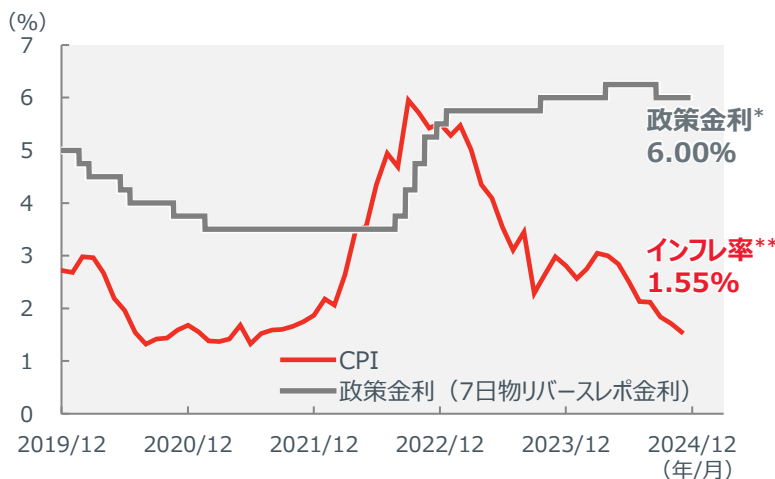
### インフレについて：

- BIはインフレ見通しについて、**当面はBIの目標レンジ内（1.5%~3.5%）に収まる**との見通しを示しました。インドネシアでは、インフレ率は低水準で推移しており、直近の11月は前年同月比で1.55%と、目標レンジ内に収まっています。

### 政策金利とインフレ率

### 政策金利\*とインフレ率\*\*の推移

（2019年12月31日~2024年12月18日）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
\* 7日物リバースレポ金利。  
\*\* 消費者物価指数（CPI）上昇率。前年同月比。2024年11月まで。

### 為替

### インドネシアルピア（対円、対米ドル）の推移

（2019年12月31日~2024年12月18日、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
※ 対円は100ルピア、対米ドルは10,000ルピア当たりの推移。

○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第379号 / 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

241220 (01)

(1/2)

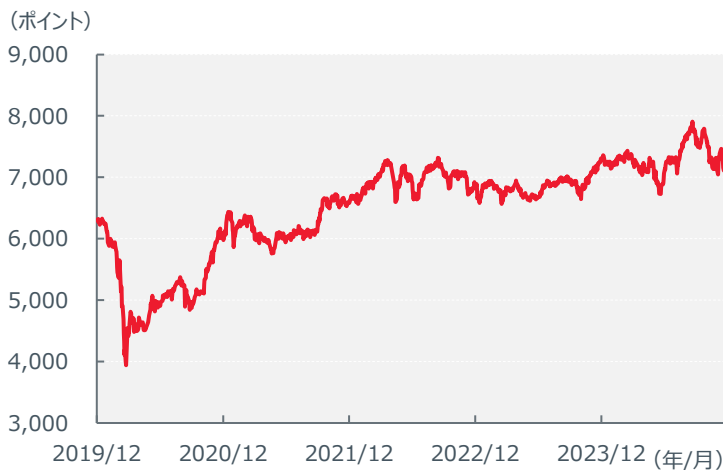
## ➤ 市場の反応と今後の見通し

- 今回の据え置きは市場の想定内ではありましたが、発表当日の18日の株式市場は下落（ジャカルタ総合指数は前日比-0.70%）、為替は対米ドル、対円ともに下落しました（前日比でそれぞれ-0.05%、-0.15%）。債券市場は長期国債の利回りは低下（価格は上昇）しました（10年国債利回りは前日比-0.7bps（-0.007%））。
- 今後の金融政策については、BIがルピアの安定性に引き続き焦点を当てている間は、より積極的な政策金利の引き下げは期待できない、と私たちはみています。
- またインドネシアの資本市場については、マクロ経済成長とインドネシア企業の競争力強化とあわせて、規律ある財政運営への期待などを背景に資金流入が促される、と私たちは考えています。

### 株式

#### ジャカルタ総合指数の推移

（2019年12月30日～2024年12月18日、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

### 債券

#### インドネシア10年国債利回りの推移

（2019年12月31日～2024年12月18日、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

#### <当資料に関してご留意いただきたい事項>

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。○当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。○当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。